

## 第20回定例岡山県教育委員会議事録

1 日 時 令和6年3月12日(火)  
開会15時00分 閉会17時10分

2 場 所 教育委員室

3 出席者 教育長 鍵本 芳明  
委員(教育長職務代理者) 田野 美佐  
委員(教育長職務代理者) 梶谷 俊介  
委員 松田 欣也  
委員 上地 玲子  
委員 服部 俊也

教育次長 田中 秀和  
学校教育推進監 中村 正芳  
教育政策課 課長 小林 伸明  
副課長 中江 岳  
総括主幹 石崎 貴史  
教職員課 課長 鈴鹿 貴久  
義務教育課 課長 苅田 直樹  
特別支援教育課 課長 江草 大作  
高校魅力化推進室 室長 室 貴由輝

4 傍聴の状況 3名

5 附議事項

- (1) 令和6年度教育施策の概要について
- (2) 岡山県教育委員会規則の一部改正について
- (3) 令和5年度末事務局職員等の人事異動について
- (4) 令和5年度末教職員の人事異動について
- (5) 岡山県立高等学校入学者選抜制度の変更について
- (6) 岡山県立高等学校入学者選抜における全国募集制度の変更について
- (7) 令和7年度岡山県立高等学校入学者選抜における全国募集実施校について

(8) 令和7年度岡山県立中学校及び岡山県立中等教育学校並びに岡山県立高等学校入学者選抜日程について

6 協議事項

(1) 令和6年度教科用図書選定審議会委員の任命及び諮問事項について

7 その他

## 8 議事の概要

### 開会

#### 非公開案件の採決

##### (教育長)

本件議題に入る前に、議題の公開の可否について決定したい。附議事項(2)は人事に関する内容があるため、附議事項(3)(4)は人事案件であるため、協議事項(1)は審議会から答申が提出される前に委員を公開することにより、教育行政の公正又は円滑な運営に著しい支障が生じるおそれがあるため、教育委員会会議規則第12条に基づき、非公開とするよう発議する。

委員から議題を非公開とする発議はないか。

##### (委員全員)

(特になし)

##### (教育長)

この発議は、討論を行わずにその可否を決定することとなっているので、直ちに採決に入る。附議事項(2)(3)(4)協議事項(1)は非公開とすることに賛成の委員は挙手願う。

##### (委員全員)

挙手

##### (教育長)

全会一致により本案件は非公開とすることに決した。

### 附議事項(1) 令和6年度教育施策の概要について

- ・教育政策課長から資料により一括説明

##### (委員)

議決後は、いつ発刊になるのか。

##### (教育政策課長)

4月から5月中にかけて冊子を作成し、発刊する予定である。

またHPでも公開する予定である。

##### (委員)

県教委が主催する事業だけではなく、民間企業や大学などが実施している高校生向けの事業の情報もまとめて発信していただきたい。

##### (教育長)

年間を通じて色々な団体や企業等が行っている事業を整理して、高校生にしっかり示

していくことは大事だと思うので、ぜひともやっていきたい。

現状では、県外のコンクール等は一覧にして示している。先日も日本一になった高校生が表敬訪問に訪れてきたが、自分がやっていることを一番主張できるコンクールを探して、応募している。そういう場を県教委として提供してまいりたい。

**(委員)**

地域学校協働活動を行うにあたり、社会に開かれた教育課程の実現という観点が非常に重要になってくるが、まだまだ十分でない市町村があると思う。市町村が課題やより効果的に運営をするためのノウハウを共有できるような仕組みを作ってほしい。活動にばらつきがあるのではないかと思っている。

**(教育政策課長)**

市町村間のみならず、県立学校間でも取組に開きがある。そういった所へのアドバイザーのような形で市町村へ促していけたらと思う。

**(委員)**

P 1 2 の心の居場所推進プロジェクトで拡大内容の数字の部分に○の記載があるが、発刊される際には、数字が入るのか。

**(教育政策課長)**

委員ご指摘のとおり実際の数字が入る。現在はお示しできないため○の記載にさせていただいているが、校正の際には具体的な数字が記載される。

**(教育長)**

大幅に増加すると見込んでいる。

**(委員)**

関連して、岡山御津高校の校内教育支援センターについてはどこに記載があるか

**(教育政策課長)**

御津高校の校内教育支援センターについては、P 1 3 の下から 3 番目に「県立高校（1 校）」という記載をしている。

**(委員)**

具体的な高校名は出さないのか。

**(教育政策課長)**

教育施策の概要には「県立高校（1 校）」という記載にするが、実際に報道をされる際には岡山御津高校の名前を出して報道をすることになる。

**(教育長)**

採決に入る。議第 1 9 号について、原案に賛成の委員の挙手を願う。

**(委員全員)**

挙 手

**(教育長)**

全会一致により、議第 1 9 号は原案のとおり決した。

## 附議事項（５）岡山県立高等学校入学者選抜制度の変更について

- ・高校魅力化推進室長から資料により一括説明

### （委員）

多様な子どもたちへ環境に対して、このような対応はいいことだと思う。

このフレックス制と同様の制度を行っている学校は他に全国にあるのか。

### （高校魅力化推進室長）

全日制に在籍しながら通信制を受講する制度については、詳細については把握していない。全日制と通信制を併設している高校で通信制の単位を修得する事例は秋田県などであるが、先駆的な取組みであると文部科学省からも伺っている。

### （委員）

良い前例として成果が出るように頑張ってもらいたい。

### （教育長）

全日制と定時制をミックスした制度は全国でも例はあるということで良いか。

### （高校魅力化推進室長）

定時制併設であれば、広島県でも例がある。全日制と通信制が併設でない場合については、把握していない。もしかすると併設している学校の全日制でそのような仕組みを使えるようにしている学校があるかもしれない。

### （委員）

フレックス制に係る入学者選抜を第1志望にした場合、特別入学者選抜を第2志望にすることができる。その場合は特別入学者選抜の学力検査が必須になるが、特別入学者選抜とフレックス制に係る入学者選抜の日は同じなのか。

### （高校魅力化推進室長）

特別入学者選抜は2日間で実施しており、初日の午前中に学力検査を実施し、午後からは、面接を実施する。または翌日がある場合は実技等を実施する日程で行っている。フレックス制の入試では面接を実施するが、今回のフレックス制に係る入学者選抜を当てはめた場合、午前中に特別入学者選抜に必要な学力検査を実施し、その日の午後や2日目にフレックス制に係る入学者選抜に係る面接を行っていくなどが考えられる。以上のような工夫で併願は可能であると考えている。

### （委員）

特別入学者選抜を併願する生徒は、2日間でフレックス制に係る面接と特別入学者選抜に係る学力検査の2つ受検するという認識でよいか。

また、その認識で良ければ一般の受検生より負担は増えるということによいか。

### （高校魅力化推進室長）

そのとおりである。しかし、併願を希望し、フレックス制に係る入学者選抜を第1志望とする生徒のみであり、その逆はない。

(教育長)

採決に入る。議第23号について、原案に賛成の委員の挙手を願う。

(委員全員)

挙手

(教育長)

全会一致により、議第23号は原案のとおり決した。

## 附議事項(6) 岡山県立高等学校入学者選抜における全国募集制度の変更について

- ・高校魅力化推進室長から資料により一括説明

(委員)

受検するエリアも広がり、人数も増加しているが、県外から受検してくる生徒の志願理由は把握しているのか。

(高校魅力化推進室長)

様々であるが、多いケースは都市部からの受検である。岡山県は隣県からが多い。和気閑谷高校であれば、通学が可能なエリアである、兵庫県からの受検であり、地域に出ていき長時間実習があったり、地域での活動が単位として認められたりするなどの特徴的な学びがある。笠岡工業・笠岡商業であれば、こちらも通学が可能な広島県福山市からの受検であり、福山市にも工業高校・商業高校があるが、笠岡商業高校・笠岡工業高校を卒業したOB・OGが福山市に住んでいるケースが多く、母校である学校へ進学させたいという思いがあるようで受検されている。

他にも勝山高校蒜山校地であれば、雄大な自然に囲まれている所で、都市部の中学校卒業生がゆっくりとした静かな環境で学びたい、かつ、地域の大人との関わり合いがあること、バイトができる等社会経験を積みながら学べることが理由に挙げられる。

(委員)

学校単位でのエリアの特色や魅力化の活動の成果が実を結んでいるのだと感じた。また卒業生も大事だと分かった。

(高校魅力化推進室長)

各学校には、少々の特徴だと他県から受検することはない、その場でしかできない学びをしっかり磨き上げてほしいと伝えている。そういった意味では、まだまだ他県で成功し、多くの生徒を集めている高校に比べるともっとできることがあるのではないかと考えている。高校魅力化推進室としてもしっかり研究し、他県の情報を伝えるなどし、さらなるブラッシュアップに努めてまいりたい。

(委員)

県外のPRも重要だと思うが、県下の生徒へのPRも行っていかなければならないのではないかと。

**(高校魅力化推進室長)**

全国募集だけで成功することは難しいと思っている。まずは地元からも選ばれる学校でなくてはならない。特に岡山県内の都市部である岡山市・倉敷市から受検してもらうことも考えなければならないが、そういった際に通える生徒は良いが、通えない場合もあるので、寄宿舎の問題も併せて出てくる。寄宿舎の問題については、立地している地元自治体の協力も必要になっているかと思っている。例えば勝山高校蒜山校地では、真庭市が新しい寮を建設する動きがあり、令和7年度から開所できる予定である。

和気閑谷高校についても和気町が寮の機能を持った地域交流センターを建設し、これも令和7年度に開所できる見通しである。

**(教育長)**

採決に入る。議第24号について、原案に賛成の委員の挙手を願う。

**(委員全員)**

挙手

**(教育長)**

全会一致により、議第24号は原案のとおり決した。

**附議事項（7）令和7年度岡山県立高等学校入学者選抜における全国募集実施校について**

- ・高校魅力化推進室長から資料により一括説明

**(委員)**

宣伝・PRはどのように行っているのか。

実績があるエリアや学校に行っているのか。

**(高校魅力化推進室長)**

学校によって学校やエリアは異なるが、実績がある学校、周辺の中学校へも併せて広報活動を行っている。

また、全国で移住定住フェアを行っているところへ同行させてもらい、ブースを設けて案内チラシを配布している。

全国募集を行っている学校を集めた地域みらい留学というサイトに登録費を支出し、掲載している。登録費を支払うと地域みらい留学が主催する説明会等にブースを設置することができる。

岡山県では現在、勝山高校蒜山校地、和気閑谷高校、本年度については、高梁城南高校が登録をし、複数回説明会に参加している。また、オンラインの説明会にも参加でき、広報PR活動を行っている。

県として全国募集を行っている全校に予算を配分することは難しいこともあり、地元自治体の支援や県が試験的に実施しながら、地元自治体としっかり連携をし、移住定住施策とも併せ進めていきたい。

**(委員)**

全国募集制度の実施校には、毎年県外生徒の入学はいるのか。

**(高校魅力化推進室長)**

複数年実施している学校で数として一番少なかったのは、林野高校であり、募集開始した時に1名のみであったが、今年度は1名受検者がいた。

全国募集をする際に選ばれる理由として、1つはその地域でしか学べない特色ある学びがあるか。もう1つは、寮などの住む場所が用意されているかが非常に大きい要素となっている。特に林野高校は、コロナ前はICTを使用した魅力的な学校であり、見学に来る生徒もいたが、寮がないので諦めたケースが多く、今後の課題になってくると思っている。

その他の学校について、来ない年はあるが、年1人や2人が入学している。

また、今年度から実施した鴨方高校では複数名が受検したと聞いている。矢掛高校についても、今年度はゼロであったが、寮が必要であることは、学校も地域も理解しており、今後議会の了解が得られれば、住む場所の確保についても考えていく余地はあると思う。

**(委員)**

全国募集を実施している学校同士が集まって、情報共有などはしているのか。

**(高校魅力化推進室長)**

全国募集を行っている学校同士が全国募集に特化して情報共有をすることは実施していない。ただ、学校間での情報共有や連携、当室からの情報提供を行っている。横展開を実施しているが、各学校同士での情報共有はしていない。

ただし、来年度は今年度の「高校と地域で創る未来の学びプロジェクト」の後継事業において、全国募集も含めた情報共有を行っていく。良い事例については、横展開できるように学校規模に関わらず、情報が欲しい場合は積極的に来てほしいというように広報しており、こういった情報共有の場への参加人数は高校だけでなく、地元自治体からの参加も徐々に増えてきており、関心は高いと思っている。そのあたりの情報共有は、引き続き充実させていきたいと考えている。

**(委員)**

全国募集で来た生徒の進学実績は公開し、PRしているのか。進学実績が良ければ生徒が集まるのではないか。

**(高校魅力化推進室長)**

個人情報の特定の恐れがあり、公開は難しいと考える。

学校によっては、全国募集で入学した生徒が、難関私学に合格するまでの過程を発信するなどしている。また、個別の学校説明会では、具体的な事例を発信してケースはあると思うが、個人情報の観点から学校のHPに掲載することは難しい。



**(委員)**

保護者の立場からすれば、過去の全国募集で入学した生徒がどのような学校に進学したかは大変気になる。好事例ばかりの発信だと現実とのギャップがあったり、好事例のようなケースならなくても心構えや対策などは取れたりできる。

**(高校魅力化推進室長)**

個別の学校のオープンスクールや見学に来られた際に情報を丁寧に出してくれているものと思っている。各学校が他県他校の情報を見学しに行き、情報を収集した際に広報が足りないことを受け止められ、工夫することで年々質が上がってきていると実感している。

**(委員)**

今回新たに全国募集を始める玉島商業高校は、どこの生徒の入学を想定しているのか。

**(高校魅力化推進室長)**

当面は寄宿舎もなく、募集人数も少数であることから電車で通える福山市周辺を考えている。我々としては、玉島商業高校に全国募集が必要なのかと思ったが、今までは玉島地区から安定して入学してくれていたが、今後少子化が進んでいくことや私学の台頭により、入学者が減少することが想定される。今までの玉島地区の入学者だけでは、定員が割れることも考え、定員が割れてから全国募集を考えるのではなく、先を見てどうすれば県外から選んでもらえるのかを研究するために、あえて全国募集を開始すると校長から聞いている。実際に笠岡市から通っている生徒もおり、福山市からの通学も可能であると学校は考えている。

**(委員)**

学校案内に全国募集を実施と掲載しているのか。

**(高校魅力化推進室長)**

掲載している学校もある。全校募集用のチラシを作成している学校もあり、各学校で知恵を凝らして足りない部分を補っている。

県内の学校は他県の全国募集を行っている特徴的な取り組みを持っている学校に比べるとまだまだ思い切った取り組みができていない。加速して子どもの数が減っていく状況で小規模校を存続させるには、全国募集に限らず、岡山市や倉敷市から選んでもらえる学校にしなければならない。要はその地に行かなければならないような学びを作っていく必要があると学校には言っており、我々としてもしっかり後押しをしてまいりたい。

**(委員)**

学校を卒業したあとも岡山県に残ってもらえれば良いが、岡山県で3年間だけでも過ごしてもらうことはすごく価値があり、大切なことと思う。

**(高校魅力化推進室長)**

特にこれから子どもの数が減少していく中で小規模校がある地域は自治体そのものが

かなり縮小しており、自治体の存続そのものが危惧されるような状況にある。

移住・定住も図りたいが、全国から来てもらうことも難しい状況にある。今後、高校に在籍している時に地元の高校だけでなく、地域の人との関係を築いてその地域に関係を持ってもらいたい。全国募集を支援してくださる企業の方と話をすると学校の教員は異動で変わるが、地域の人是不変わる。そういった意味で地域との交流人口や関係人口が増えていく点で効果があると言われた。岡山県の学校も学校の中だけでなく、地域との関係性をしっかりと意識を高めてもらいたい。そうなってくると地元自治体からの支援も今まで以上に得られると思うし、越境してくる生徒も岡山・学校・地域に来て良かったと満足感を持ってもらえる3年間にしてほしいと考えている。

#### **(委員)**

全国募集をしている学校はどの程度コミュニティ・スクールの導入や地域学校協働活動を積極的に実施しているのか。

#### **(高校魅力化推進室長)**

学校運営協議会に関して言うと、玉島商業高校については、これから導入予定ではあるが、全国募集を行う学校については全て導入済である。そういった意味ではスタートの段階であると思う。

ただ、学校運営協議会も学校・地域によって差があり、全ての学校で活発に行われていて、全国募集のことも一緒に考えられているかと言うと小規模校ということもあり出来ていない。まずは教育活動を地域と連携して行うという点では、我々も後押しをしており、地域の協力を得られながら展開できている学校が増えていると思っている。

しかし、全てが成功してはいないという認識もあり、今年度も地域の方や企業を含め上手く教育活動を行おうとしている地域に関しては、これから導入を予定している学校長や導入して間もない学校長に案内を送付し、実際に見学に行ってもらったり、会が始まる前に上手くいっている学校長と話をし、情報提供をしてもらったりしている。実際の意見としては、好評であり、今度も報告会や研修会として開催するのではなく、学校運営協議会等が開催される機会を活用し、横展開を図っていきたい。

#### **(委員)**

全国募集を行うことで他の地域から生徒が入学し、一緒に学ぶメリットをうまくアピールや掘り下げをしていてもらいたい。

#### **(委員)**

玉島商業で4名。勝山高校で16名。12校全ての学校で何名を全国募集するのか。

#### **(高校魅力化推進室長)**

玉島商業と勝山高校を含まないで、令和6年度入試における募集人員は126名である。

#### **(委員)**

来年度は2校の全国募集が増えて募集人員は146名となるのか。

**(高校魅力化推進室長)**

現行の定員の10%という制度でいうとそうなるが、さきほど議決をいただいた制度によって来年度はもっと増加する。

我々の予想では、募集人員は200名前後になるのではないかと考えている。

**(委員)**

それぞれの学校が、他県の生徒からもっと言えば同じ岡山県の生徒からも魅力を感じてもらえる学校作りに取り組まなければならないと思う一方で、人口減少により定員割れをおこし、他県からの募集を開始するというのは、岡山県の教育の質を担保するという面もある。

各学校の役割もあるが、県教委の立場として全国募集の定員を充足させる取組みについて、責任を持ってやっていく必要があるのではないかと。

**(高校魅力化推進室長)**

自分のエリアで同じことが学べるのであれば、わざわざ他のエリアに行く必要がないわけで、なぜその学校に行くのかという「なぜ」という目的がないといけない。

その「なぜ」に叶うような教育活動を展開できるかということが、最後の答えだと思っている。

ひと昔前は同じことを教え、どちらの質が高いかであったが、現在は、色々なニーズがあり、様々な価値観に合う学びができるかであると思う。

**(委員)**

各学校ではそうだ。しかし、岡山県に来ないといけないということは、県の役割ではないか。県として近隣の他府県の方々にどういった情報発信ができてきているのかという視点も加えてもらいたい。今の話であると各学校が各自ですればいいと聞こえるが、県が各学校の魅力を束ねてPRをやってもらいたい。

**(委員)**

各学校が特色ある教育内容のためにどうするところを県がしっかりとサポートできていれば、県としても全体で発信できるのではないかと。

各学校ができていないのが現状だとすると、各学校だけがいくら考えても出てこない。県で言うと知事部局とどう組んで、県立高校ではあるが、県だけではできず、立地する市町村がどのように高校魅力化に絡むかといったことが重要になるのではないかと。

高校から市町村に働きかけるのは難しいと思うので、県教委や知事部局が市町村の首長部局へ地域にどういう問題があつて、高校といったものを使いながら考えてもらう必要があるのではないかと。

**(高校魅力化推進室長)**

令和4年度・5年度と「高校と地域で創る未来の学びプロジェクト」という事業を行い、全国募集のサポートをしている企業にサポートしてもらいながら重点指定校である勝山高校蒜山校地・和気閑谷高校・矢掛高校に2年間コーディネーターを配置しながら

助言やアドバイスもらった。そういった知見を整理し、さらに一歩進めていきたい。また、事業を実施していく中で、部局との連携が必要だと感じた。和気閑谷高校や勝山高校蒜山校地が上手くいっているのは、しっかりと部局を巻き込んだ成果だと思うし、矢掛高校についても他事業で初めは教育委員会を窓口にしていましたが、部局を窓口にしたことでより成果が出たと思っている。

今後事業が変わるが、コーディネーターを育成する事業をしながら、全国の事例を入れながら、しっかりとバックアップをしていきたい。

(教育長)

採決に入る。議第25号について、原案に賛成の委員の挙手を願う。

(委員全員)

挙手

(教育長)

全会一致により、議第25号は原案のとおり決した。

#### 附議事項(8) 令和7年度岡山県立中学校及び岡山県中等教育学校並びに岡山県立高等学校入学者選抜日程について

- ・高校魅力化推進室長から資料により一括説明

(委員)

例年より遅くなっていると思うが、これはカレンダーの都合か。

(高校魅力化推進室長)

そのとおりである。

(委員)

特別入学者選抜やフレックス制に係る入学者選抜はいずれか1日となっているが、希望で選べるのか。

(高校魅力化推進室長)

選べない。現段階ではここまで示しているが、最終的には日程が入ってくる。

(委員)

合格発表の日は、岡山市内の中学校卒業式の翌日と思っていたが、今回は間隔が空いているが、これについてもカレンダーの関係か。

(高校魅力化推進室長)

そのとおりである。しかし、中学校の卒業式より後の日に合格発表が行われるのは決まっている。卒業式から合格発表までの日数はカレンダーによって異なる。

(教育長)

採決に入る。議第25号について、原案に賛成の委員の挙手を願う。

(委員全員)

挙手

(教育長)

全会一致により、議第25号は原案のとおり決した。

以下、非公開のため省略

閉会